

第 16 章	社会(公民)	名前:	日 付	No.02
	地球社会			

[問題 1]

次の文の①～③に適語を入れなさい。

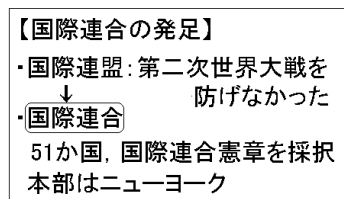
歴史的に見ると、国際関係が拡大するにつれて、経済的、政治的対立も拡大していった。このような中で、国際紛争の処理方法として仲裁裁判制度や国際組織を設けて、国家間の調整をはかろうとする考えが出るようになった。その代表的なものが第一次世界大戦後にできた(①)であった。しかし、この組織は全会一致制をとっていたため、全体の意思決定が極めて難しく、組織の設立を提唱したアメリカ合衆国が上院の反対で加盟せず、敗戦国ドイツと、社会主義国家となったソ連が当初参加を許されなかった等の問題点があり、第二次世界大戦の勃発を防ぐことができなかった。

1945 年、(①)の反省にもとづいて組織されたのが国際連合である。国際連合は、本部を(②)に置き、すべての加盟国からなる(③)と理事会に異なった権限が与えられ、議決方式も全会一致制を取らず、決議の円滑化をはかった。

[解答欄]

①国際連盟	②ニューヨーク	③総会
-------	---------	-----

[解説]



国際連盟が第二次大戦を防げなかった反省から、もっと強力な国際組織を作って世界の平和を維持しようと、1945年に**51か国**が**国際連合憲章**を採択し、**国際連合**が成立した。国際連合は総会・安全保障理事会・経済社会理事会・事務局などからなり、**本部はアメリカのニューヨークに置かれている**。

[問題 2]

次の資料を見て、各問いに答えなさい。

- (1) 右図は、第二次世界大戦後の世界平和を維持するためにつくられた組織のマークである。この組織を何とといいますか。
- (2) 日本が(1)の組織に加盟したのは 1956 年のことである。この年にソ連との間で国交が回復し、ソ連の反対がなくなったからである。このソ連と日本の国交回復が実現した宣言を何とといいますか。



[解答欄]

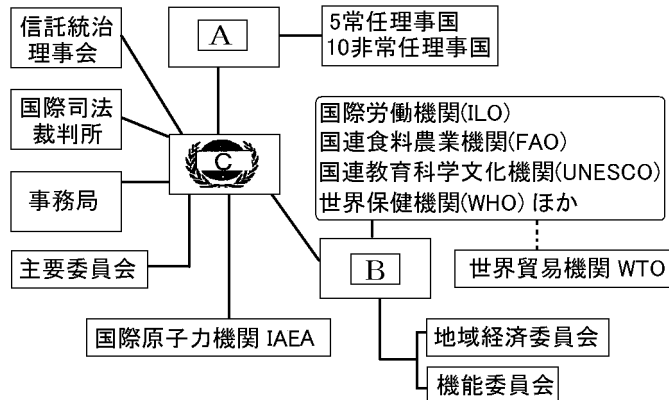
(1) 国際連合	(2) 日ソ共同宣言
----------	------------

[解説]

- (2) 日本が国際連合に加盟したのは 1956 年である。この年にソ連と日ソ共同宣言を結び、ソ連の反対がなくなって加盟が実現した。

[問題 3]

図中の A～C に適する組織名を答えよ。



[解答欄]

A 安全保障理事会	B 経済社会理事会	C 総会
-----------	-----------	------

[解説]

国際連合には次のような機関が設けられている。

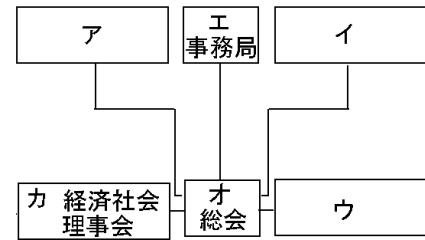
総会	全加盟国の代表で構成されており、年 1 回定期的に開かれる。国の大小にかかわらず、 1 国 1 票の投票権 をもっている。議決には、 通常の問題では、出席し投票する国の過半数の賛成が必要。重要事項については、出席し投票する国の 3 分の 2 以上の賛成が必要である。
安全保障理事会	国際社会の平和と安全の維持をはかる機関。5 常任理事国と 10 非常任理事国からなる。
経済社会理事会	経済・社会・文化・人権などに関する問題を処理する。経済社会理事会の 専門機関 として、国連教育科学文化機関(ユネスコ) (UNESCO)、国際労働機関(ILO)、世界保健機関(WHO)などがある。
信託統治理事会	信託統治地域であったところは、すべて独立したため、現在は活動を停止している。
国際司法裁判所	国家間の国際法上の紛争についての裁判を行う。 オランダのハーグ に置かれている。
事務局	国連の各機関の運営に関する事務を行う。ニューヨークの国連本部にある。

[問題 4]

国際連合の主要機関を示した右の図を見て、以下の設問に答えなさい。

- (1) 図中のア～ウにあてはまる機関の名称を、以下の文を参考にして答えなさい。

- ア 条約の解釈や国際法についての紛争を裁く。
 イ 非自治地域などの自立や安全をはかる。
 ウ 国際社会の平和維持に関して、最も重要な役割を果たす。
 5 常任理事国と 10 非常任理事国とで構成される。



- (2) 図中のアは何という都市にあるか、次の中から選びなさい。

[ニューヨーク ジュネーブ ロンドン ハーグ]

- (3) エの事務局に関して、次の設問に答えなさい。

- ① 事務局の長を何といいますか。
 ② 現在は誰がその職についていますか。その人物の名前を答えなさい。

- (4) オの総会に関して、次の a～d のうち誤りを含むものを 1 つ選び、記号で答えなさい。

- a すべての討議事項について、過半数の賛成を必要とする。
 b 全加盟国で構成される。
 c 年 1 回定期的に開かれる。
 d 国の大小にかかわらず、1 国 1 票の投票権をもっている。

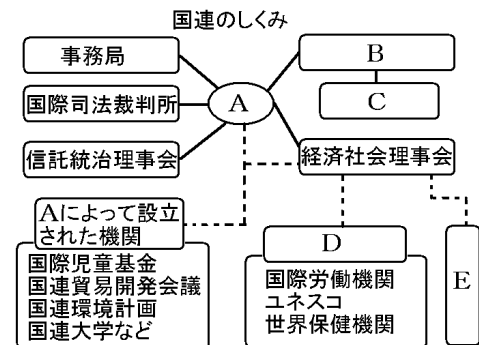
[解答欄]

(1) ア 国際司法裁判所	イ 信託統治理事会	ウ 安全保障理事会
(2) ハーグ	(3) ① 事務総長	② パン・ギムン
(4) a		

[問題 5]

右の図を見て、次の A～E にあてはまる語句を書きなさい。

- A 国連のすべての加盟国からなる。
 B 15 か国で構成される。
 C 紛争地域への軍の派遣活動などを行う。
 D さまざまな分野を専門的にあつかう。
 E 国の間の貿易の問題をあつかう。



[解答欄]

A 総会	B 安全保障理事会	C 平和維持活動(PKO)	D 専門機関
E 世界貿易機関(WTO)			

[問題 6]

次の文の①～③に適語を入れよ。

安全保障理事会は最重要の機関であり、常任理事国と、非常任理事国で構成されている。重要事項の決議は、常任理事国(①)か国のすべてを含む(②)理事国以上の賛成投票によるため、安保理の常任理事国は、いわゆる(③)権を持っていることになり、自国に不利な決議を否決するなどの大きな問題も現れた。特に米ソの対立時代には、国際紛争に有効に対応できなかったが、現在では(③)権の発動も極めて少なくなっている。

[解答欄]

①5	②9	③拒否
----	----	-----

[解説]

【安全保障理事会】

集団安全保障による平和の維持

常任理事国(5国): アメリカ, イギリス, フランス, ロシア連邦, 中国

非常任理事国(10国)

重要問題の議決には、

5常任理事国を含む9理事国以上の賛成が必要

常任理事国は、拒否権をもつ

国際連合は、国際連盟の失敗に対する反省から、侵略国に対して加盟国全体で武力制裁を含む制裁措置を行う
集団安全保障のしくみがとられている。

平和と安全の維持にあたっているのは安全保障理事会で、アメリカ、イギリス、フランス、ロシア連邦、中国の5か国が常任理事国で、非常任理事国は10か国である(任期は2年)。重要問題の議決には、5常任理事国を含む9理事国以上の賛成が必要で、常任理事国のうち1か国でも反対すれば議決されない。これを拒否権という。米ソの冷戦時代には、国際紛争には米ソのいずれかまたは双方が関係している場合、拒否権が発動されることが多く、国際紛争に有効に対応できなかったが、現在では拒否権の発動は少なくなっている。